

史料群名	かけぶち 掛瀧漁業協同組合文書	旧所蔵者	掛瀧漁業協同組合
探訪時住所	山口県大津郡日置村蔵小田		
現在の住所	山口県長門市日置蔵小田		
探訪年月	昭和27（1952）年8月		
史料の年代	昭和12（1937）年～昭和23（1948）年	史料の総点数	15点
年代の内訳	近代 15点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪書類によると昭和27年8月に借用した分は返却されている。本史料群が入れられていた整理封筒に「掛瀧漁組より贈らる」と書かれており、借用分とは別の寄贈分であったと考えられる。

史料群の概要

日置村については「柏谷家文書」の「史料群の概要」参照。

探訪地の蔵小田（くらおだ）は、近世から明治22年までは蔵小田村で、その後日置村に含まれた。近世の蔵小田村に掛瀧浦があり、鯛漁、コノシロ漁などを営み、廻船も行っていた。同浦は元々油谷湾に面していたが、掛瀧川の河口部分が干拓され、現在は海岸から遠ざかっている。

本史料群は向津具村の漁業調査の際のメモや地図類などがほとんどで、掛瀧漁業協同組合の運営に関するものは見られない。

